

4年 道徳科学習指導案

I 主題構成表

主題名 広い心をもって

資料名 学級新聞作り

■内容項目 B相互理解・寛容

広い心を持ち、自分と異なる意見も大切にしようとする。

■価値の分析

人の考えや意見は多様であり、それが豊かな社会をつくる原動力にもなる。そのためには、多様さを相互に認め合い、理解しながら高め合う関係を築くことが不可欠である。自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、自分とは異なる意見や立場も広い心で受け止めて相手への理解を深めることで、自らを高めていくことができる。また、寛大な心をもって他人の過ちを赦すことができるのは、自分も過ちを犯すことがあるからと自覚しているからであり、自分に対して謙虚であるからこそ他人に対して寛容になることができる。このように、寛容さと謙虚さが一体のものとなった時、広い心が生まれ、それは人間関係を潤滑にする。

しかし、私たちは、自分の立場を守るため、つい他人の失敗や過ちを一方向的に非難したり、自分と異なる意見や立場を受け入れようとしなかったりするなど、自己本位に陥りやすい弱さを持っている。今日の重要な教育課題の一つであるいじめの未然防止に対応するとともに、いじめを生まない雰囲気や環境を醸成するためにも、互いの違いを認め合い理解しながら、自分と同じように他者を尊重する態度を育てることが重要であると言える。

■内容項目から見た児童の実態

(意識)

- ・自分の意見と友達の意見は必ずしも同じではないことに気付いているが、自分の意見に納得してほしいという思いが強い。
- ・会話で言葉足らずなことが多く、誤解してトラブルになったり、自分のことは棚に上げて、自分にとって不都合だと思ったことに着目してしまいやすかったりする。
- ・分からなくてもそのままいいやと思ひ、お互いの意見を理解し合おうとしたり、新たなアイデアを生んだり建設的な話し合いをしたりすることが難しい児童が多い。

(要因)

- ・意見の違いを受け止められず、感情的になってしまうことが多い。
- ・自分の姿を客観的に見ることができず、自分の発言や行為は正しく、悪くないと思っている。
- ・何となく話だけが進んでいってしまったり、どちらかに決めなければならないという意識が強かったりする。

■教材の分析

言い争いをしているときの主人公は、友達のことをどう思ったのかを考え、議論することで、多様な考え方や感じ方を引き出し、仲間と比べる中で、主人公の強い気持ちに気づかせたい。

一方、自分の意見を押し通そうとしたことが気になる主人公の姿から、子どもたちは、相手の考えを受け入れた言動をすることの大切さについて問題意識を高めることができる。また、主人公のとるべき行動とその行動をとった時の主人公の気持ちに着目することは、相手の考えを受け入れた言動をすることの大切さについて理解を深めることにつながる。

■ねらい

お互いの考えを尊重し合うことの大切さに気づき、相手の考えを受け入れた言動をとろうとする態度を養う。

■基本発問とその意図

○「わたし」の心が晴れないのはなぜでしょう。

・「わたし」のすっきりしない気持ちの原因を多面的・多角的に考えることを通して、「わたし」が後悔していることに気付かせたい。また、自分の考えだけでなく、相手の考えも受け入れようとする心が大切であり、友達とよりよく過ごすためにはどうすればよいか、児童の実践意欲に繋げていきたい。

2 学習指導過程

	基本発問と予想される児童の反応	指導・援助
導入	<p>◇友達と意見が異なったり、言い争ったりした経験を話し合う。</p> <p>○友達と意見が異なったことで、けんかになったことはありますか。</p>	<p>・係活動や学級会など、日常生活を想起させ、自分と課題とのつながりがもてるようにする。</p>
展開前段	<p>◇教材「学級新聞」を読み、異なる意見を大切にすることについて考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>友達と意見が異なった時、どんな心で接するとよいのでしょうか。</p> </div> <p>○「わたし」の黒羽さんにしたこと、残念だなというところや少しよくなったなあというところを見つけてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「わたし」は、黒羽さんの考えがおかしいと思って言い争いをしているのは、残念。 ・私は黒羽さんにしたこと、押しつけたと感じ、心が晴れないのは少しよくなった。 <p>○言い争いをしているとき、「わたし」は、黒羽さんのことをどう思ったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで話し合って決めたのに、自分勝手なことをするので、嫌だ。 ・私は正しいことを言ったと思う。黒羽さんは、おかしい。 ・黒羽さんは、自分の考えをまげようとしない。頑固だ。 <p>◎「わたし」の心が晴れないのはなぜでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少し言いすぎてしまったかもしれない ・よりよい新聞を作ろうとしてくれていたのだから、黒羽さんがそう行動したのも分かる気がしてきた。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【深めの発問】</p> <p>○こんなに悩まないようにするためには、どこでどうするとよかったですか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合っているときに、もっと黒羽さんの話を聞いてあげればよかったです。 ・自分の考えを話すとき、押し通すのではなく優しく伝えられるといいと思う。 ・話を聞いた後、黒羽さんのアイデアも取り入れた新聞作りをしていくとよかったです。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>相手の考えを受け止めようとする広い心が大切。</p> </div>	<p>・「わたし」が黒羽さんにしたこと、残念（人間理解の場面）、少しかわったなあ（価値理解の場面）を見つけ、基本発問に生かす。</p> <p>・「わたし」の多様な考え方や感じ方を引き出し、仲間と比べる中で、自分の強い気持ちに気づかせる。「考え、議論する」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【評価の視点】</p> <p>「わたし」のすっきりしない気持ちの原因を多面的・多角的に考え、「わたし」が後悔していることに気づき、深めの発問を通して、自分の考えだけでなく、相手の考えも受け入れようとする心が大切だということに気づく。</p> </div>
展開後段	<p>◇本時の授業で感じたことをもとに、自己を見つめる。</p> <p>○異なる意見の相手に対して、どのように接してきましたか。そのときどんな気持ちや考えでそうしましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・納得がいかないことでも、まずはしっかりと話を聞いた。そうしたら、少し納得がいったことがある。 ・相手の話は反対だったけれど、言うことやこくなるので、我慢してきいていた。自分の話もしっかり話してお互いが理解できるようにしていきたい。 	<p>・自己を見つめるは、これまでの自分の行為を見つめられるようにする。</p> <p>・導入で確かめた自己の経験をふり返り、友達と意見が異なった時どうしていたかを深くみつめさせたい。</p>
終末	<p>◇教師の説話をする。</p> <p>○相田みつをの詩「セトモノ」を読む。</p>	<p>・自己をセトモノに置き換えて振り返り、今後の意欲に繋げる。</p>